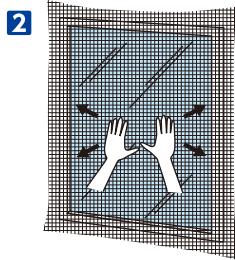


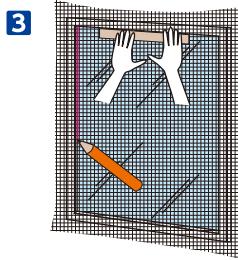
貼り方



ガラス面のヨゴレやほごりをきれいにふきとります。
(油や洗剤成分が残っていると貼り付
きにくくなることがあります)
この時点ではシートの保護フィルムをは
がします。

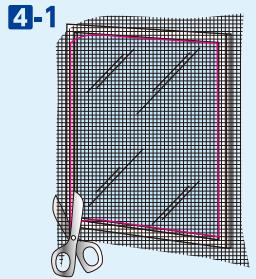


本製品を窓枠まで覆うようにガラス面に密着させ、手で中央から四方に向かって押さえ、本製品のシワを伸ばします。メッシュ部分から空気が抜けるので、簡単にシワが直ります。
※フィルムのような気泡が残らない。



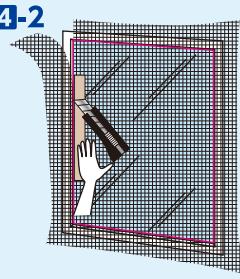
定規のようなもので、ガラス面の枠いっぱいまで押さえ、ペンで印(枠)を描き、カットします。

はさみでカットする場合

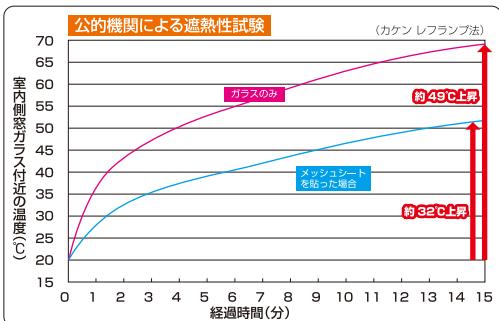


カットしようとする一邊を少しだけ剥がし、描いた枠線に沿ってカットする。カットが終わったら、窓に密着させます。

ナイフでカットする場合



定規のようなもので本製品を押さえ、描いた枠線に沿ってシートをカットします。



15分後の結果	15分後	スタート時	温度上昇
ガラスのみの場合	約 69°C	約 20°C	約 49°C
メッシュシートを貼った場合	約 52°C	約 20°C	約 32°C

断熱効果 約 35%

ガラスに本品を貼り、レフランブにて光を照射し、ガラスから5mm付近の上昇温度を計測しています。この断熱効果により、エアコンのサーモスタットが早めに作動し、節電効果につながります。尚、効果については使用状況により異なります。

【使用上の注意】

- 先の尖ったものや硬いものでこすると破れる場合があります。
- 火の近くでは使用しないでください。
- 長期間使用すると、商品の色合いが変化する場合があります。
- 商品を剥がした際、窓ガラスにわずかな糊残りが付く場合がありますが、その場合は中性洗剤を含ませたぬるま湯で拭き取ってください。
- 開封時の臭いは一般の接着剤と同様の粘着剤の臭いです。窓に接着後数日でなくなります。
- 窓ガラスに貼る面(糊面)が汚れると、粘着力が落ちる場合がありますので、出来るだけ指先などで触らないようにしてください。特に貼り直しをされる際はご注意ください。
- 本來の用途以外ではご使用にならないでください。
- 本品は家庭用窓ガラス専用です。自動車等へのご使用はできません。
- 糊残りがひどい場合は、市販の粘着剤をはがしてご使用ください。
- 粘着剤はがしをご利用の際は換気に注意ください。
- 水を含ませたメラミンスポンジで擦り取る方法も効果的です。

ご注意

- ※凸凹ガラスの種類によっては貼れないガラスがあります。
- 市販のロテープをガラス面に貼ってお確かめください。
- セロタapeが十分に貼りつかないガラスの場合、本品が貼れない場合があります。
- ※平らな面のガラスでも貼れないガラスがあります。
- ガラスの表面に特殊な焼毛加工を施したガラスの場合、粘着力が弱くなる場合があります。お使いのガラスマーケーにお問合せください。
- ※ガラス面は必ず水分を充分に拭き取ってから貼ってください。
- ガラス面に水分がついている状態では糊面(貼る面)が浮いた状態になり貼れない場合があります。

メッシュシートがガラスにつきにくい場合は

- 窓ガラスにメッシュシートを引っこ張らないように貼り、その上から市販のドライヤーで軽く温め手で押さえて削ぐとガラスとのつきがよくなります。
- ※ドライヤーを長時間あて続けたり、ガラスに近づけると熱剝れを起こす可能性がありますのでご注意ください。

品質表示

本体：ポリエステル、アクリル系粘着剤
離型フィルム：ポリオレフィン

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。
この度は当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
お支付きの点がありましたら、当社までお問い合わせください。
※製品および箱包材を廃棄される場合は、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いいたします。

発売元 株式会社 山善

お客様相談窓口フリーダイヤル **0120-069-060**
〔AM9:00～PM5:30 土・日・祝を除く〕



ラベル



包装材

MADE IN JAPAN